



土砂災害避難促進 アクションプログラム

防災意識の高い社会の構築に向けて行政と住民が一体となって取り組む行動計画「大分県土砂災害避難促進アクションプログラム」の一環として、**国東市安岐町下山口地区**でハザードマップの再点検、地区タイムラインの作成等を実施しました。

○令和6年7月7日（日）10:00～12:00
活動趣旨の説明、現地調査

砂防ボランティア協会より概要、活動目的の説明を行い、地区内の危険箇所を住民の皆さんと一緒に確認しました。



現地調査



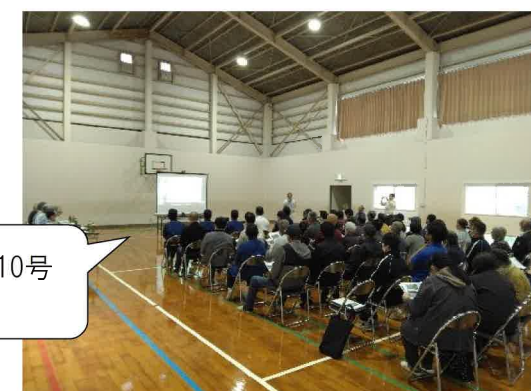
○令和6年11月10日（日）10:00～12:00
土砂災害防止の啓発

地区の防災訓練に合わせて、過去の安岐町での災害の状況、今年度の台風10号による被害報告を行い、併せて、土砂災害による被害と避難行動の重要性についての講演を行いました。



昭和36年の安岐町大水害について地元の方より体験談をお話頂きました。

安岐支所から台風10号による被害報告。



避難の3原則

- その1 「想定にとられるな」
- その2 「最善を尽くせ」
- その3 「率先避難者たれ」

参考文献：片田敏孝「人が死なない防災」

講演会の様子





土砂災害避難促進 アクションプログラム

防災意識の高い社会の構築に向けて行政と住民が一体となって取り組む行動計画「大分県土砂災害避難促進アクションプログラム」の一環として、**国東市安岐町下山口地区**でハザードマップの再点検、地区タイムラインの作成等を実施しました。

○令和7年1月12日（日）13:00～16:00
地区タイムラインの作成

これまでの2回の活動を総括して、こういったタイミングで、こういった避難をすべきか、日ごろの備えは、など班ごとにタイムラインの作成を行いました。

作業手順説明



班ごとの議論



成果発表

